

一問一答方式（文責本人）

地区センターの今後のあり方は

問……………

地域活動専門員は、現地区センターの役割や体制面で地域課題やニーズに対応できているかどうかを検証する目的で配置されたが、取り組み内容の中間検証はなされているか。

答……………

専門員ごとにテーマを持って活動しており、その成果は検診率の向上、自主防災組織の結成支援や防災訓練等の指導、特産品による6次産業化支援など地域課題解決に向けた支援を行っている。

問……………

「地域でできることは地域で」の考え方を基本に、地域の行政拠点を軸とした総合サービスの展開を検討すべきと考えるが。

答……………

「進化まちづくり検証委員会」を設置し、総合的な地域づくりに向けて住民と連携しながら協議を進める。また、地域課題に対応する地区センター機能のあり方を検証し、その結果を踏まえて限られた人的、財政的資源を有効活用して地域課題を解決する。

問……………

市民の健康維持と増進に向け、柔軟、かつ即応できる保健師を身近な地区センターに配置すべきでは。

答……………

少子高齢化が進行するなか、健康寿命を延ばすことは地域の健康づくりの大きな視点であり「進化まちづくり検証委員会」で地区センターの役割・機能のあり方を検証し方向性を

を定めていく。

市の非正規職員の配置の考え方は

問……………

配置目的や配置基準はあるか。

答……………

地方公務員法の規定に基づき、市の規則や要綱により配置している。

問……………

正規職員と非正規職員の仕事内容に違いはあるか。

答……………

臨時職員は急を要する場合や事務繁忙対策として、また、非常勤

問……………

非正規職員の賃金は労働対価に見合ったもの、及び生活できるレベルにすべきと思うが。

答……………

職種により、その専門性や難易度等を考慮し、また、県内他市との状況を考慮しながら検討する必要がある。

職員は専門知識や業務経験の有識者を配置しており、ほぼ正職員と変わらない内容である。



盛大に行われた上郷町民運動会



佐々木 大三郎 議員 (清風会)

一括質問方式（文責本人）

地域要望の結果を明確に提供する仕組みを

問……………

地域から求められた要望に、回答がはっきりしないとの声がある。市内全地域の共通課題でもある。現在、その結果をどのようにに連絡されているのか、地区センターごとのホームページを活用し、要望事項と回答を提供する仕組みができないか。

答……………

長年要望されていて実現されていない事項や、回答に時間を要する事項等も一部あるが、これらについては、その実現に向けた対策を十分検討する必要もある。また、要望に対する回答がしっかり伝わ



予防接種風景

風しん予防接種に助成を

つていない事例については、事実関係やその原因を調査し、確実に情報を提供する体制を構築したい。

問……………

風しんの流行が拡大傾向にある。早急に対策を講じなければならぬ。予防接種が必要だが、予防接種費用の助成ができないか。

答……………

特に妊娠20週頃までに風しんにかかると、赤ちゃんの耳、心臓、目の障害、いわゆる「先天性風疹症候群」が現れる心配がある。これらを踏まえ、国や県の動向を見ながら対策について検討してきたが、感染予防を徹底するため、予防接種に係る一部助成金等の支援対策を、7月から実施できるよう準備を進めている。

問……………

熱中症が心配される。本格的な季節の前に、子ども、高齢者等の熱中症対策はどうするのか。

答……………

乳幼児や高齢者、基礎疾患を持つておられ



石橋 達八 議員 (無会派)

「耳マーク」を行政等の窓口に掲示し、便宜を図るべきでは。

答……………

耳が「聞こえにくい」という市民のために、不安や不便を感じさせないよう市の窓口や公共施設に「耳マーク」を掲示する。また、集音器や助聴器の設置の検討、「耳マークカード」の配布もさっそく実施する。

る方々は特に注意が必要なことから、関係機関との連携で熱中症予防の再確認とPRをしていく。